

10月28日(金)・29日(土)

## 作品展

今秋は作品展が2日間にわたり開催されました。子どもたちの手から生まれた作品は、ひとつひとつ、想いが込められたものばかり。

豊かな創造力に心を動かされました。  
子どもの成長を感じるステキな作品展でした。



11月1日(火)

## あい・あい・あいさつ運動

多くの先生、役員の方に見守られる中、あい・あい・あいさつ運動が行われました。

どの子どもも大きな声で元気よく挨拶をする姿が印象的で、朝からたくさん元気をもたらすことができました。

これからも挨拶を通じて子どもたちの見守りができたらよいですね。また、いつも子どもたちが安全に登校できるよう見守ってくださる皆様に改めて感謝申し上げます。



11月28日(月)

## 家庭教育セミナー

今回は、厚東実先生(鳴子小学校校長)を講師にお招きし「想像してミロ!」～名画の見方を通して、子どもの表現を考える～をテーマに行われました。

子どもの作品を理解することは、子どもの想いに寄り添うこと。作品のタイトルや細かな部分を見て、子どもと対話をしながら、どのような想いで作品を作ったか知ること。上手、下手ではなく、子どもの想いに寄り添い「ステキ!」「がんばったね」の声掛けが大切とお話でした。

今後の子どもの作品への声かけを学ばせてもらいました。



12月10日(土)

## ふれあいフェスタ

コミュニティセンター・UR集会所・体育館をリモートでつなぎ、子どもたちと地域高齢者の方々との交流イベント「ふれあいフェスタ」が開催されました。

全会場でラジオ体操を同時に行いスタート! 続いての、○×クイズでは、勝ち抜いた上位10名には賞品があり「やったあー!」と大喜びする子どももいて大盛り上がりでした。次は、ジェスチャーゲームのチーム戦。「盆踊りを踊るタヌキ」のジェスチャーでは「盆踊り」を知らない子どもたちが多く、急ぎよ「踊るタヌキ」に変更(笑)そんなハプニングもありましたが、苦戦しながらも子どもたちは頑張っていました。最後は、子どもたちから地域高齢者の方々へメッセージカードの寄せ書きをプレゼントしました。寒い中での開催でしたが、このふれあいフェスタでたくさんの笑顔を見ることができ、心が温まりました。

